

一覧詳細

1	対象となるがん	転移性結腸直腸がん(KRAS変異を有する)
2	使用される新薬(治験薬)	ソトラシブ、パニツムマブ、トリフルリジン・チピラシル、レゴラフェニブ
3	実施方法(治験のデザイン)	ランダム化第Ⅲ相試験 A群:ソトラシブ(高用量)+パニツムマブ投与群 B群:ソトラシブ(低用量)+パニツムマブ投与群 C群:トリフルリジン・チピラシルorレゴラフェニブ投与群 ※この治験に参加した患者さんは、A群、B群、C群のいずれかの治療を受けることとなります。 どの群での治療になるかは分かりません。
4	治験に参加いただける患者さんの身体状況(患者選択基準) ※患者選択基準の概要の一部です。	①18歳以上の男性、女性 ②ECOGパフォーマンスステータス \leq 2 ③病理学的診断が文書により記録されている転移性の結腸直腸癌 ④遺伝子変異検査結果でKRASp.G12C変異の確認 ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩
5	治験責任医師	津田 政広 医師

知的財産権の保護等の理由により、非公開の要望のあった項目については、表中の項目を「-」としています。